

「出生時心肺停止における心電図の有用性」に関する研究のお知らせ

【目的】

出生時心肺停止の状態において、心電図装着下で新生児蘇生処置をすでに行われた患者様のデータを収集し、今後の医療に発展させていく目的で行っています。

【対象】

2014年4月から2015年8月までに当院院内で出生し、出生時より心肺停止状態で蘇生処置を受けた患者様となります。

【方法】

分娩前の胎児心拍モニター所見、アプガースコア、蘇生中の児の心電図所見の変化、実際に行われた蘇生処置（気管内挿管、胸骨圧迫、アドレナリン投与など）、臍帯血 pH、胎盤病理所等を調べます。また基本的な情報（年齢、性別、在胎週数、出生体重、分娩様式）や予後を調べます。

【プライバシーの保護】

データ収集の際には、患者さん個人を特定しうる情報（個人情報）は院内で厳重に管理し、個人が同定されないよう匿名化した上でデータ収集、解析を行ないます。この取組、研究の成果は学会や医学雑誌で発表されることがありますが、その際にあなたのお名前や身元などが明らかになることはありません。

また、この取り組み・研究は北野病院の倫理委員会の承認を得て、患者さんの権利が守られていることや医学の発展に役立つ情報が得られるであろうことが、複数の専門家により認められています。

当研究に関してご質問がある方や、対象となる方でご自身のデータが研究に利用されることを拒否される場合は、お手数ですが下記医師に連絡・相談頂ますようお願いいたします。

平日 9時~17時 近くの医療スタッフにお声掛け頂ますようお願いいたします。

主任研究者 田附興風会医学研究所北野病院 小児科部長 水本 洋
副主任研究者 田附興風会医学研究所北野病院 小児科 小泉 正人

公益財団法人 田附興風会医学研究所 北野病院

〒530-8480 大阪市北区扇町 2-4-20 TEL 06-6312-1221(代表)

連絡先医師名

小泉 正人

水本 洋